

<p>会議名 第6回 未来枠会議</p>
<p>日時 平成30年10月3日(月) 18時00分～19時5分</p>
<p>会場 区役所123会議室</p>
<p>出席者(敬称略)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉大学 都築 ・千葉大学 原 ・すみだ青年協力会 広田 ・個人枠 高橋 ・個人枠 一色 <p style="text-align: right;">計5名</p>
<p>会議の概要</p> <p>1 情報提供 資料1及び資料2-1～2について情報提供した。</p> <p>2 前回までの議事内容の確認 資料3に確認した。</p> <p>3 「2020スカイツリーイベントリレー」について【会員の意見】 部会員 区・事務局 前回の会議で継続審議となったアイデアについて、提案者からアイデアの検討結果の発表があり、それに対する質疑応答を行った。</p> <p>(1) 提案内容1: 未来枠のあり方について 未来枠のコンセプトを「スカイツリーの『にぎわい』を、街全体の『にぎわい』に」と設定し、今後のアイデア創出の軸とすること。 未来枠だけでなく、一般の方々からのアイデアも取り入れるため、不定期にアイデアコンテストを開催すること。 それまでに生まれたアイデアを活用し、東京2020オリンピック1年前期間にイベントを行うことを目標とすること。 全体的な流れはよいと思う。新たに人材が増えれば、会も活発になるのでは。 特定の団体に偏らないように配慮が必要では。 未来枠が2020年以降も続くコミュニティにしたいと考えている。人数規模は20～30人程度が限度。東京2020大会に向けて取り組みたいという思いやアイデアのある方に参加してもらえよう工夫したい。</p> <p>(2) 提案内容2: 2020スカイツリーイベントリレー キックオフイベント「体感せよ！634日後の世界」の実施について 資料4に基づき、提案者から実施内容案の説明があった。 東京2020オリンピックの634日前(墨田区独自の節目)となる10月29日(月)にキックオフイベントを開催し、墨田区の未来枠という若者の集まりが動きだしたことをPRしたい。 VRボクシング体験、ポッチャ体験、あしたのジョーフोटパネルは、区で用意できる。 VRボクシングは体験に時間を要するため、その他のコンテンツとして、オリンピック発祥の地ギリシャをイメージした着物の展示と、前回の未来枠で岩田さんから事業提案を参考に、「1964年の墨田区」展示会を提案。 「1964年の墨田区」展示会は、物品の手配等が現実的に難しい。 ギリシャ着物の展示にかかる費用はどれくらいか。</p>

着物展示の運営スタッフとして2～3名、展示に必要な物品等を含め、10～20万円かかる見込み。

ソラマチ地下3階、東京スカイツリー4階(北エントランス付近)、東京スカイツリー第一展望台の3か所に分ける理由は？

ソラマチ地下3階は、押上駅に直結しているため人通りが非常に多いので、今回のイベント告知のビラ配りができると効果的だと考えた。また、足を止めてもらうためのコンテンツとして「あしたのジョーパネルのフォトブース」を考えた。

東京スカイツリー4階は、チケットカウンターがあるフロアで、北エントランスは平日夕方方も一定程度の人通りがあり、VRボクシング体験や着物展示ができるスペースがある。

東京スカイツリー第一展望台は、未来枠が新たなコンセプト(上記(1)の提案内容1の)を基に動き出すことをPRしたいため、未来枠のメンバーと共に、すみだの夜景をバックに集合写真撮影を行いたい。

写真撮影は誰が行うのか。

区の広報広聴担当を考えている。

キックオフイベントに係る費用はいくらぐらいか。

着物の借用費、ビラ印刷費、パネル等の作成費で20万円以内に収まる見込みである。

20万円の費用をかけるのであれば、他にできることもあるかも知れない。また、着物を傷つけてしまった場合の対応は大丈夫か。

他のアイデアがあれば是非いただきたい。着物を展示するにあたっては、着物の運営関係者に管理を任せたいと考えている。

着物が貴重な物であることは分かったが、当日来場者が見ただけでわかるだろうか。

着物の運営関係者が2～3名来ていただけると聞いている。説明等の対応も可能。

イベント実施時間(月曜18時)に現地調査をしたところ、通行者の約半数は外国人観光客だった。外国人から質問される可能性もあるが、対応はどのように考えているか。

同大学の英語が話せる学生に参加してもらおう。

そもそも、このイベントはやることが決定なのか。

決定ではない。前回の会議で事業提案のあったアイデアを包括した形で実施できるという点、キックオフイベントの実施希望日(10/29)まで日がない点から、未来枠としての意思決定が取れた場合を想定して、同時並行で関係者との調整を行ってきた。本日は出席者も少ないため、欠席者にも意見を伺った上で決定したいと考えている。

ビラのデザインの確認、当日の協力体制等、もう一度、集まって確認する必要があるのではないか。

東京2020参画プログラムへの申請は10月15日(月)までに行わなければならない。ビラ等についてはメールで確認をいただきたい。

イベントを行うにあたり、設営業者等は入るのか。

想定していない。提案者を中心に、未来枠のメンバーで運営したいと考えている。

会議には出席していないが千葉大の学生も当日参加できる。

そうであれば、レイアウト等も自分達で考えなければならない。現地確認も必要になると思う。

欠席者に意見を伺うことと並行して、提案者と区が連携して、スカイツリーの

関係者等と調整を行った上で、提案者側で作成いただきたい。
未来枠のメンバーに一番協力を求めたいことは、第一展望台での集合写真撮影である。
なるべく多くの未来枠メンバーとともに集合写真を撮りたい。

キックオフイベントの運営関係者は、無償で第一展望台に登ることができるよう調整している。

11月30日(金)東京2020パラリンピック634日前(墨田区独自の節目)にあたるこの日に、イベントリレー1回目のイベントとして、ワークショップ型のアイデアコンテストを行いたいと考えている。キックオフイベントでのビラ配りは、このイベントのPRも目的としている。

会場は、区役所に併設しているリバーサイドホールの会議室を仮予約している。

これから未来枠として、スカイツリーに関連したイベントを考えていくにあたり、スカイツリーの建設にいたった経緯や現在の課題等を講義していただける方を探したい。事務局に協力をお願いしたい。

了解

今回いただいた提案について、他のメンバーへも意見を伺った上で、実施の可否を決定する。

- 4 次回の開催について
事務局にて調整の上、決定する。